



じりつ「自律と自立」

指 宿 高 等 学 校

進路指導部 第 4 号

発行日 H30. 9. 3 (月)



(1・2年生へ)2学期スタート！毎日の学習スタイルを見つめ直そう あなたの学習習慣を自己診断。こんな勉強していませんか？

- 進路調べ・選択を後回しにしている。
- 受験勉強は、3年生になってから始めるつもりだ。
- 学習時間は、平日1時間・休日2時間以下だ。
- 宿題以外の学習は、ほとんどしていない。
- 英語や国語の辞書を引かない、引いても1つの意味しか確認しない。
- ノートは、板書だけを書いている。
- 古典の予習は、ほとんど何もしていない。
- 英語の平日の学習は、30分以下だ。
- 数学の宿題は、自力ではほとんど解けない、解かない。
- 数学の定期試験対策が不十分で、解けない問題はすぐにあきらめている。
- 定期試験や模試の後の復習は、ほとんどしていない。



スタディーサポートの分析より

1・2年生の秋以降に成績が、上昇した人の学習習慣とは？

- **志望を固めて、目標を持って学習に取り組む。**
2年生の成績上昇者は、この秋から受験を意識した学習をスタート。
1年生の上昇者は進路研究をしっかりと行い、目標を持って学習に取り組んでいます。
- **学習時間は、平日2.5時間以上、休日4時間以上が目標。**
2年生の成績上昇者の学習時間の目標は、平日2.5時間以上、休日4時間以上。
部活動で忙しいという人も、時間の使い方を工夫しましょう。
- **英語・古典の学習は予習中心。～辞書やノートを活用！～**
成績上昇者の英語や古典の自宅学習は予習が中心。
辞書で複数の意味や語源、例文なども確認することで、語句の理解が深まります。
ノートには板書だけではなく、重要だと思ったことを書き込むことも大切です。
- **数学は日々問題を丁寧に。～自力で解けるまで！～**
成績上昇者は、解けない問題はそのままにせずに、確実に理解しようとしています。
定期考査前は、できるだけ多くの問題を、解説に頼らず自力で解く努力をしています。
考査後に間違いの理由の確認を徹底して行うことも、上昇者の特徴です。

学習習慣の改善で、目指せ成績上昇！



(3年生へ) 8日(土) 体育祭を大切に迎えよう!

「クラス全員で取り組む!」体育祭練習・本番も放課後自習も真剣に!



早いもので9月に入ります。この夏の暑さで体調を崩している人はいませんか? なかなか計画通りに進まないなどと思っている人はいませんか? 本当に力がついていけるのかなあとと思っている人はいませんか? まだまだ大丈夫。成績の伸びが、実感できるのは、これからです。今から、高校生活最後の大きな行事である体育祭にむけて、「最高学年」としての責任を發揮するときです。体調管理に気を配りつつ、朝課外や授業・放課後自習に集中して、変わらぬ指高の学習サイクルを粘り強く続けていきましょう。「きつけれど、頑張っ乗り越えるぞ!」という雰囲気、学年全体・学級全員で作っていきましょう。

AO入試や公務員等の試験を受ける生徒は、いよいよ本番を迎えます。出願や受験等に関してはミスのないように、細心の注意を払ってください。



～学級の雰囲気づくりの重要性～

「志望校に合格する」という目標は、みな同じですが、入試の方法や時期は一人一人異なるため、学級の雰囲気が今までとは違ってくるのは、当然のことです。勉強の辛さや合否への不安から、心が折れそうになることもあるかもしれません。しかし、合格までの道のりがつらいのは皆同じことです。一緒に頑張る友達の姿に励まされることもあれば、自分自身が友達のやる気を喚起する、貴重な存在になるかもしれません。「受験は団体戦」という言い方をよく耳にします。学級全体で団結して、進路目標の達成を目指してほしいと思います。

「朝課外の遅刻・欠席」、「授業中の居眠り」、「教材等の忘れ物」は、学級の雰囲気を乱すことになりかねません。周囲への気配りを忘れず、一人一人の行動が、学級の雰囲気に大きな影響を及ぼすという自覚を持とう。

～「模試の復習が実力をつける近道」 補強分野を明らかにしよう!～



模試の復習をしていますか? 頑張っているのに思うような結果が出ず、焦りを感じている生徒もいるかも知れません。しかし、模試の結果に一喜一憂してはいけません。模試は弱点分野を明らかにし、入試本番までの課題を認識するために受けるものです。模試で解けなかった問題を復習して、弱点を補強していくことが大切です。9月15・16日(土・日)に、マーク模試があります。

2学期、特に10月からは模試が続きます。以下の点に注意して、模試を入試本番の予行演習として活用し、弱点補強につなげていきましょう。

① 模試を入試本番と考えて受験しよう。

模試実施日を入試本番と考えて準備をし、実力を出し切るトレーニングをしよう。

② 時間配分を考えよう。

見直しをすれば、簡単に防げるミスをしないためにも、模試において、時間配分に意識して取り組もう。

③ より多く得点できる答案を作りましょう。

1点を積み上げる、減点されない答案作成を意識しましょう。

④ マーク模試を利用してセンター試験に向けた自己採点を正確にしよう。

解答番号を、問題冊子に必ず残すことが大切です。